CNEAS

CNEAS 20th 東北大学東北アジア研究センター
創設20周年記念式典・国際シンポジウム

# 東北アジア 地域研究の新たなパラダイム

Northeast Asia
Towards a New Paradigm of Area Studies

## 記念式典・講演会

**日時** 2015. 12月5日(土) 13:30~16:20

**会場** 仙台国際センター
〒980-0856　仙台市青葉区青葉山無番地
TEL：022-265-2211
http://www.aobayama.jp/

**参加費無料・要参加登録**

※聴講ご希望の方は、下記フォームURLよりご登録ください。

〔URL〕 http://goo.gl/forms/d789IYWjmr

◆e-mail、FAXにても受付可能です。
お名前と参加希望の旨をお知らせください。

〔e-mail〕tohoku.ne.symp@gmail.com
〔FAX〕022-795-3620

**お問合せ**

東北大学東北アジア研究センター事務室
TEL.022-795-6009

講演❶ 思想課題としての東北アジア

山室 信一 氏
（京都大学人文科学研究所　教授）

講演❷ DNAから見た日本人の形成と北東アジア

篠田 謙一 氏
（国立科学博物館人類研究部　研究調整役）

◎詳細はホームページをご覧ください
http://www.cneas.tohoku.ac.jp/
東北アジア　検索

TOHOKU UNIVERSITY

# 東北アジア 地域研究の新たなパラダイム

東北大学東北アジア研究センター
創設20周年記念式典・国際シンポジウム

記念式典・講演会

## 講師紹介

### 山室信一（京都大学人文科学研究所　教授）

1951 年、熊本生まれ。東京大学法学部卒業。衆議院法制局参事、東京大学社会科学研究所助手、東北大学文学部附属日本文化研究施設助教授等を経て、現在京都大学人文科学研究所教授。法学博士。著書：『法制官僚の時代：国家の設計と知の歴程』（木鐸社、1984、毎日出版文化賞）、『キメラ：満洲国の肖像』（中央公論社、1993、吉野作造賞　増補版、2004）、『思想課題としてのアジア：基軸・連鎖・投企』（岩波書店、2001、アジア・太平洋賞特別賞）、『憲法 9 条の思想水脈』（朝日選書、2007、司馬遼太郎賞）、『複合戦争と総力戦の断層：日本にとっての第一次世界大戦』（人文書院、2011）等。

### 講演「思想課題としての東北アジア」

東北アジアとはいかなる空間なのであろうか？

例えば、シベリアはアジアに入っているかという問いに対して、多くの日本人は否と答える。地理学的な通説ではウラル山脈によってヨーロッパとアジアが分かたれるとされているにも拘わらず、である。そのことは心象空間と物理空間とが、必ずしも一致しないことを意味しているとともに、そもそも空間範域をいかなる基軸によって切り分けているのか、という思想課題に私たちを導く。

さらに、地域研究においては人文・社会科学的アプローチでは時間軸よりも空間軸が重視されてきたが、時空間（クロノトポス）としての生態空間を生活世界として捉え直すための方法論的指針を提示していくために多文化空間で、かつ多自然空間ともいえる東北アジアがもっている有意性とは何か、に答えることも重要な思想課題となるはずである。

このような複層的な問いを前にして、東北アジアを研究対象とするという営為は、いかなる課題に応えようとするものであり、それは人文・社会科学にとって、さらには日本人にとってどのような意義をもつのかについて考えてみたい。

### 篠田謙一（国立科学博物館人類研究部　研究調整役）

1955 年、静岡県生れ。佐賀医科大学助教授、国立科学博物館人類第 1 研究室長を経て、2014 年より国立科学博物館 人類研究部長。2015 年より国立科学博物館研究調整役（人類研究部長兼任）。医学博士。著書『日本人になった祖先たち―DNA から解明するその多元的構造』（NHK ブックス）のほか、『骨の事典』（朝倉書店）、『日本列島の自然史』（東海大学出版会）などの共著がある。

### 講演「DNAから見た日本人の形成と北東アジア」

今世紀になって、さまざまなヒト集団の DNA データが大量に生み出されるようになり、それを基にした集団の起源や拡散の研究が進められている。日本人の起源に関しても、旧石器、縄文時代を含む各時代のデータが揃いつつあり、従来の研究方法では知ることのできなかった日本人形成のシナリオが提唱されるようになっている。その中で我々は、これまで主として関東以北の縄文人の DNA 分析を続けてきた。北海道の縄文人が持つ DNA は、データの存在しないこの時代のシベリア集団の遺伝的な性格を知る手がかりとなる。また、その後の北海道集団の遺伝的変遷が、沿海州の集団の影響を受けていることも明らかにした。本講演では、近年の DNA 分析が明らかにした日本人の起源について解説し、東北、北海道の集団の遺伝的な変遷を、北東アジアにおけるヒトの移動の文脈の中で説明する。

## 会場のご案内

**仙台国際センター**

〒980-0856　仙台市青葉区青葉山無番地
TEL:022-265-2211
http://www.aobayama.jp/

**バス**　仙台駅前９番のりばより「宮教大・青葉台」、「宮教大」、「宮教大・成田山」、「動物公園循環 青葉通・工学部経由」、「交通公園・川内営業所」に乗り、「博物館・国際センター前」下車（乗車時間約 10 分）

**タクシー**　仙台駅から約７分、仙台空港から約 35 分。

※地下鉄東西線（国際センター駅）は、12月６日（日）より開業予定。

2015 年
**12月5日(土)**
13:30 ～16:20
入場無料
要参加登録